

令和2年8月19日
昭和大学歯科病院障がい者歯科
船津 敬弘

障害者歯科医療推進モデル事業報告（昭和大学歯科病院障がい者歯科）

モデル事業の目的

「地域で支える障害者歯科医療」を推進するため、地域の歯科診療所での障害者の受け入れに関する課題を抽出するとともに、地域の歯科診療所、障害者歯科に関し専門性の高い歯科医療機関、障害者福祉サービス事業者、自治体、歯科医師会等の関係団体等との連携の方策について検討することを目的とする。

東京都との打合せにより、本学は都市部のモデルとして選定されました。

地域特性としては、隣接する大田区、品川区に歯科医師会立の二次に相当するセンターがなく、一次と三次のみで構成された地域となります。

会議体に参加いただいた関係団体は

三次歯科医療機関〔荏原病院〕

障害福祉サービス事業者〔かがやき園（入所施設）・久が原福祉園（通所施設）〕

自治体〔大田区・品川区保健所〕

歯科医師会〔荏原・品川・大森・蒲田歯科医師会〕

会議体を中心として、地域の歯科診療所での障害者の受け入れに関する課題の抽出、関係者等との連携・情報共有の方策について検討を行いました。

○課題

障害者の受け入れに関する課題、連携に関する課題、その他の課題を抽出するため歯科医院、利用者それぞれにアンケートを行いました。

歯科医院は荏原・品川・大森・蒲田歯科医師会に所属診療所および品川区、大田区の三次歯科医療機関する139施設より回答を得ました。

利用者側は、大田区、品川区にある障害者施設の利用者146名より回答を得ました。なお、利用者アンケートに関しては本人以外に施設職員、保護者が回答しているものも含まれています。

[歯科医院からの回答]

- ・ 歯科医師数は1名が59%、2名が22%、3名が19%でした。
- ・ 歯科衛生士数は1名が33%、2名が16%、3名が30%、4名が21%でした。
- ・ 車椅子での通院可が70%、大型車椅子での通院可は16%、ストレッチャー可は4%でした。
- ・ 診療経験が60%以上の障害は認知症、脳血管障害、うつ病、視覚・聴覚障害、パーキンソン病、発達障害、知的能力障害でした。
- ・ 診療未経験が60%以上の障害は筋ジストロフィー、脊髄損傷、脳性麻痺、染色体異常、自閉スペクトラム症でした。
- ・ 歯科検診の受入れ可が60%以上の障害は認知症のみでした。

- ・ 歯科検診の受入れ否が 60%以上の障害は脊髄損傷、自閉スペクトラム症、染色体異常、脳性麻痺、筋ジストロフィーでした。
- ・ 歯科治療の受入れ可が 60%以上の障害は認知症、うつ病、聴覚・視覚障害でした。
- ・ 歯科治療の受入れ否が 60%以上の障害は脊髄損傷、自閉スペクトラム症、染色体異常、脳性麻痺、筋ジストロフィーでした。

[利用者からの回答]

- ・ 年齢は 2～71 歳、平均 37 歳で、10 歳未満が 5%、10 代が 6%、20 代が 19%、30 代が 25%、40 代が 21%名、50 代が 10%、60 代が 4%、70 代が 3%、不明が 6%でした。
- ・ 障害（複数回答可）は知的能力障害が 58%あり、その他発達障害 10%、自閉スペクトラム症 9%、脳性麻痺 8%、染色体異常 5%、脳血管障害 1%、統合失調症 1%、うつ病 0.5%、その他 6%でした。
- ・ コミュニケーションは会話できるが 69%、発語はないが理解できるが 18%、言語は殆ど理解できないが 12%、筆談が 1%でした。
- ・ 移動の方法は歩行可能が 87%、車椅子の使用が 12%、その他が 1%でした。
- ・ 生活は在宅が 87%、施設入所は 13%でした。
- ・ 現在口腔内で困っていることがあるとの回答は 12%であり、歯科検診の希望、歯並び、歯肉の腫れなどでした。
- ・ かかりつけ歯科医院が有との回答は 84%であり、区分は 90%が一般の歯科診療所でした。
- ・ かかりつけ歯科医院を探した手段は友人・家族の紹介が 87%、施設職員からの紹介が 5%、他の歯科医院からの紹介が 2%、ホームページ検索が 2%、歯科医師会からの紹介が 1%、その他が 3%でした。
- ・ かかりつけ歯科の選択理由を回答いただけたのは 14%にとどまったが、「家・施設から近い」が多くを占めました。
- ・ 通院理由（複数回答可）は 65%が定期検診、12%が歯石・歯の清掃、5%が虫歯治療、1%が歯磨き指導、0.7%が入歯治療、その他が 0.7%、未回答が 15%でした。
- ・ 通院間隔は月に一度が 18%、2-3 か月に一度が 40%、半年に一度が 16%、1 年に一度が 5%、数年に一度が 6%、未回答が 14%でした。
- ・ かかりつけ歯科医院が無と回答した利用者の理由は、「一人で受診できない」が 38%、「どこに行けばいいかわからない」が 31%、「必要がない」が 13%、「その他」が 19%でした。
- ・ 治療を受けるときに困ること（複数回答可）があるとの回答は 23%であり、内容は「説明の理解ができない」32%、「口をあけてもらえない」20%、「治療が怖い」19%、「じっと座ってもらえない」17%、「暴れてしまう」6%、「過去に嫌な思いをした」6%、「他の患者が気になってしまう」2%でした。
- ・ 歯科医療機関に望むこと（複数回答可）があるとの回答は 47%であり、内容は「障害に配慮した特別な対応」58%、「バリアフリー」11%、「一般患者と分けられた待合室」11%、「個室」11%、「抑制はしない」9%でした。

結果から得られた課題

当地域の歯科医院は老化を含む中途障害に対しては一定の診療体制を提供していると考えられます。し

かし障害者を積極的に受け入れるという体制はまだ構築されていないことも推察されました。利用者側ではアンケートにご協力いただいた障害者の多くは会話も可能で、運動機能にも問題のない軽度障害者が多くを占めましたが、その様な障害者は多くがかかりつけ歯科と認識している診療所があることが分かりました。歯科を探す手段に関してはいわゆる友人・家族からの口コミであり、他の検索手段が殆どないことも示唆されました。通院する歯科医療機関に対しては「障害に配慮した特別な対応」を多くの利用者が求めており、受け入れる歯科医院側での障害に対する理解や知識の向上が必要と考えられました。

○取り組み

アンケートから得られた課題の中で、我々は利用される障害者にできるだけ適した歯科医療機関を紹介すること、また、紹介された歯科医療機関においては、ご自身の医院で対応のできない障害や診療内容が誤って来院されないようにすること、この2点に焦点を絞り、Webによる地域での障害者歯科医療機関検索システムを構築することとしました。課題抽出のアンケート時に歯科医院へはWeb掲載の可否、可の場合バリアフリーの状況や診療日、アクセス方法や予約方法の調査を行っております。

また検索システムのほかに、地域の歯科医療機関により安心して患者の受入れをしていただくことと、高次医療機関とのよりスムーズな連携を目指して、地域の歯科医師会と病院歯科、大学病院で共通の問診票（資料1）および診療情報提供書（資料2）を試作することとしました。

利用者である障害者ならびにそのご家族に対しては、「大田区品川区における障害者歯科医療—地域における現状と取り組み—」と題して、大田区、品川区の各歯科医師会ならびに荏原病院、昭和大学歯科病院での活動ならびに地域で受けることのできる歯科医療サービスを紹介する講演会を企画いたしました。

[Web検索システムについて]

システムの概要及び操作方法の概要は次頁をご覧くださいと思います。システム構築にあたり歯科医療機関の検索に対していくつかロジックを組み込んでいます。それは本モデル事業の会議体を通じて、事前の歯科医師会、施設職員等からのご意見（情報収集）に基づくもので、患者の代表としての施設側からはどこにかかって良いかわからないという意見や、実際に地域の歯科医院に行ったが断られた等の嫌な思い出のお話がありました。一方で歯科医院側では受け入れると言っても障害の程度（軽度）による、とか、本当は障害者は診たくないなどの意見がありました。アンケート結果からも患者の希望、歯科医院側の要望とそれぞれの立場が表れており、患者—歯科医院の不幸なマッチングを避ける必要があると考えました。そこで「主訴」と「障害判定基準」の2項目にロジックを組み込みました。「主訴」においては検診や歯磨き指導、歯周炎の治療を選択した場合は大田区、品川区の全ての歯科医療機関（掲載に承諾を得られた歯科医療施設）がヒットする対象としましたが、親知らずの抜歯、虫歯治療、差し歯治療、義歯の作成、歯並び相談、食事相談（いわゆる治療行為か専門的指導）を選択した場合は全て高次医療機関のみがヒットするようにプログラミングしました。「障害判定基準」は主に障害の程度が重度とされる身体障害者手帳—肢体不自由—（1～2級）、愛の手帳（1～2度）、療育手帳（A）、精神障害者福祉手帳（1級）に該当した場合は全て高次医療機関のみがヒットするようにプログラミングしました。こうすることで、一次医療機関である地域の歯科医院にかかろうとする障害者は、障害の程度は軽度で、主訴は検診を中心とした非常に軽度な治療に限定することができます。これにより、患者側、歯科医院側双方にとって良好な結果を生むことができると考えたからです。

Web 検索システム

ホームページトップ画面



障害者歯科医療推進モデル事業
ホームページ (HP)
<http://snd.showa-u.ac.jp/>
「歯科医療機関検索はこちらから」に
アクセスしていただき、
HPトップ画面から歯科医院検索シ
ステム画面に入ります。

第1 検索画面 (歯科治療の希望と障害認定基準)

病院検索
該当する病院の検索を始めます。下記の3つの質問にお答えください。

Q1. お困りのことはなんですか？ (主訴、1つ選んでください)

- 歯科相談
- 検診希望
- 口腔清掃希望
- 歯磨き指導希望
- 歯周 (歯肉) 炎の治療
- 親知らずの抜歯
- 虫歯治療
- 差し歯治療
- 義歯の作成
- 歯並び相談
- 食事相談
- 摂食嚥下訓練
- 往診
- その他

Q2. 主な障害名はなんですか？ (1つ選んでください)

認知症

- 認知症
- 脳血管障害
- うつ病
- 視覚・聴覚障害
- 統合失調症
- パーキンソン病
- 脊髄損傷
- 発達障害
- 知的能力障害
- 自閉スペクトラム症
- ダウン症
- 染色体異常
- 脳性麻痺
- 筋ジストロフィー

Q3. 障害認定基準はお持ちですか？ (認定基準ごとに1つ選択できます)

A: 身体障害者手帳 1級 2級 3級 4級 5級 6級 なし

B: 愛の手帳 1度 2度 3度 4度 なし

C: 療育手帳 A B なし

D: 精神障害者福祉手帳 1級 2級 3級 なし

E: 身体障害者手帳—視覚障害 1級 2級 3級 4級 5級 なし

F: 身体障害者手帳—聴覚障害 1級 2級 3級 4級 5級 なし

第1 検索画面では、主訴を1つ選択していただくと、歯科治療の希望から地域歯科診療所 (一次医療機関) をリストするか、高次歯科医療機関 (三次医療機関) をリストするか決定されます。

注) ”親知らずの抜歯“など長時間の観血処置になる可能性がある場合、**緊急性が高い**と判断され、**三次医療機関のみ**が表示されます。

第1 検索画面下段では、障害認定基準を選択いただきます。

黒枠で囲まれた箇所

- 身体障害者手帳 一肢体不自由 (1~2級)
- 愛の手帳 (1~2度)
- 療育手帳 (A)
- 精神障害者福祉手帳 (1級)

主に障害程度が重度

精神障害者福祉手帳 (1級) に該当した場合、三次医療機関紹介“のみ”となります。

三次医療機関

第1 検索画面で三次医療機関に該当しない場合には、次の第2 検索画面で通院条件などを選び、地域歯科医院の選択ができます。

第2 検索画面（通院先エリアと通院時の条件検索）

歯科医療機関検索

前画面の登録内容
 主なお困りのこと：歯科相談
 主な障がい名：認知症

通院先エリアの選択

荏原歯科医師会 荏原・中延・旗の台・戸越	品川歯科医師会 品川・大崎・五反田・大井
大森歯科医師会 大森・池上・豊谷・千束	蒲田歯科医師会 蒲田・梶谷・六郷・羽田

通院時に必要な設備（複数選択）

- 車いすの利用
- 大型車椅子の利用
- ストレッチャー利用
- 医院専用の駐車場利用
- 近隣のコインパーキング利用

お困りのこと、追加や今後の継続的受診の希望（任意、複数選択）

- 歯科相談 検診希望 口腔清掃希望 歯磨き指導希望 歯周（歯肉）炎の治療 歯石の除去 認知らずの抜歯
- 虫歯治療 差し歯治療 義歯の作成 歯並び相談 食事相談 摂食嚥下訓練 往診 その他

検索 該当：0件 戻る

通院先エリアの選択
4つのエリアを複数選ぶことができます

通院に必要な設備では車いす使用など複数の項目を選ぶことができます

*2番目以降の主訴や希望については検索条件として扱わず記録をとるのみとしています。

歯科相談 検診希望 口腔清掃希望 歯磨き指導希望 歯周（歯肉）炎の治療 義歯の作成 歯並び相談 食事相談 摂食嚥下訓練 往診 その他

検索 該当：0件

検索ボタンを押すたびに該当歯科医院（病院）数が変化します。利用者は通院先や設備の条件を変化させて、検索を繰り返すことで、どの程度の対応医院数があるかを確認することができます。

前画面の登録内容
 主なお困りのこと：歯科相談
 主な障がい名：うつ病

おすすめの医療機関

塚りくち歯科 (中延)	品川区中延5-11-15	ラフィネ中延1F
石川歯科	品川区中延4-6-17	2F
鈴木歯科クリニック	品川区豊島6-5-5	
並木歯科医院	大田区東豊谷3-22-6	
岡本歯科医院	大田区鶴の木2-15-10	
荏原病院	大田区東豊谷4-5-10	
みはる矯正歯科医院	大田区北千束3-25-13	2階
井坂歯科医院	大田区大森北1-3-7	
みちこ歯科医院	品川区戸越1-3-8	ペルハム戸越1-101
米山歯科	品川区小山3-2-10	

第1検索で選択された“お困りのこと”および“主な障害”は第2検索画面でも常に表示されています。

検索数から下方では、医院一覧をみることができ、医院名をクリックすることで、各医院の詳細情報を見ることができます。



○成果

Web 検索システムを登録いただいた歯科医院ならびに会議体に参加している施設職員、利用者を中心として試用していただき、その内容や使用感についてアンケートを行い、46名より回答を得ました。

- ・ 主訴の内容については、87%が十分との回答でした。
- ・ 主な障害名については、87%が十分との回答でした。
- ・ 障害認定基準については、98%が十分との回答でした。

- ・ 通院先の設備情報については、78%が十分との回答でした。
- ・ 検索システムの操作性については96%が十分との回答でした。
- ・ 表示される医院の詳細内容については91%が十分との回答でした。
- ・ 障害の程度（重症度）把握のために、「話の理解度を聴く」や「開口状態を維持できるか」、「不随意運動の有無」、「歯科医院の診療台に座れるかどうか」等の情報の必要性や「行政との連携、障害者7団体との連携が必要」との意見も出されました。
- ・ 地域の利用者へかかりつけ歯科医院の選択肢を広げるための本事業の取り組みについては、「とても良い」70%、「おおむね良い」15%、「良い」8%、未回答7%で、良いとの回答が93%、「あまり良くない」、「良くない」との回答はありませんでした。
- ・ 自由記載では以下のような意見が出されました：

「書類上の障害の程度と実際に診療を受け入れられるか否かの状況に乖離があるのでそのあたりのマッチングがより細やかに行えるようになれば障害者の歯科受診の選択肢が広がると思います」

「検索システムに関しては特にございません。患者さんがいらしてからの対応の方が我々にとって大切だと思います判りやすくして良いと思いますが、来院される方が事前情報の通りかどうか心配です。実際うけてみないと判らないので。」

「軽度の障害者はかかりつけもしくは近くの歯科に通院すると思われれます。このシステムを利用する方は重度の障害者もしくは受け入れに不安のある方と思います。重度の障害者は一般のGPには受け入れに不安があります。」

「障害をもつ方は健常者よりも治療だけではなく、不安やコンプレックスをいだいていると思うので、大学病院や専門医、認定医の先生が一度、一緒に患者さんとこのホームページをみながら医院を選んでくれると患者さんも安心してかかりつけ医を決められるのではと思いました。」

「一次医療機関サイドからするともう少し細かい点（たとえば、車いす可だけレントゲン室には入れないなど）をはっきりさせておかないとトラブルにつながりやすいと思います。細かくすると患者サイドが混乱する。もう少し内容を精査する必要があるのでは？難しいです。」

「チェックのみで検索できるので、簡便で良いと思います。検索の際に該当するものがないと言う患者様もどうしても出てくると思うのですが、項目を増やしすぎると意味がないのでこのくらいが妥当だと思います。」

「地域の歯科医療機関からの紹介率が低いことに大変驚きました。このようなシステムを使い高次医療機関とのシームレスな診療システムを作ることに大賛成です。」

「歯科関連についての問い合わせが直接施設に相談に来るのでこちらのシステムを紹介できればと思います。」

本モデル事業では「地域で支える障害者歯科医療」の第一歩として地域の利用者と歯科医療機関を繋ぐWeb検索システムを構築中心として展開し、その取り組みについては93%が良いとの成果が得られました。今回の成果や課題が、今後都が運営されるひまわりの検索システムの改良にも役立てば、利用者である障害者ならびに受診される歯科医療機関どちらにも有用な結果に繋がるのではと考えております。

※システム自体は継続で稼働させておりますので、宜しければご覧ください。 <http://snd.showa-u.ac.jp>

問診票

資料1
記入日 年 月 日

ふりがな	性別	生年月日
お名前 愛称	男 女	大・昭・平・令 年 月 日 (歳)
ご住所 〒	電話番号 自宅 _____ 携帯 _____	
保護者（介護者）お名前	本人との続柄	
学校名・施設名・勤務先	身長 cm 体重 kg 血压 /	

〈障害について〉 *当てはまるものに✓をお願いします。複数回答可

<p>主な障害はなんですか？</p> <p><input type="checkbox"/>発達障害 <input type="checkbox"/>知的能力障害 <input type="checkbox"/>Down症候群 <input type="checkbox"/>自閉スペクトラム症 <input type="checkbox"/>脳性麻痺 <input type="checkbox"/>視覚・聴覚障害</p> <p><input type="checkbox"/>染色体異常 <input type="checkbox"/>筋ジストロフィー <input type="checkbox"/>脊髄損傷 <input type="checkbox"/>統合失調症 <input type="checkbox"/>脳血管障害</p> <p><input type="checkbox"/>うつ病 <input type="checkbox"/>認知症 <input type="checkbox"/>パーキンソン病</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p>
<p>障害者手帳をお持ちの方は以下の障害認定基準に○をおつけ下さい。</p> <p>身体障害者手帳 1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級</p> <p>愛の手帳 1度・2度・3度・4度</p> <p>療育手帳 A・B</p> <p>精神障害者福祉手帳 1級・2級・3級</p>

〈お体について〉

<p>あてはまる病気はありますか？</p> <p><input type="checkbox"/>高血圧 <input type="checkbox"/>低血圧 <input type="checkbox"/>心臓病 <input type="checkbox"/>糖尿病 <input type="checkbox"/>腎臓病 <input type="checkbox"/>肝臓病 <input type="checkbox"/>喘息 <input type="checkbox"/>肺炎 <input type="checkbox"/>てんかん</p> <p><input type="checkbox"/>骨疾患 <input type="checkbox"/>消化器疾患 <input type="checkbox"/>結核 <input type="checkbox"/>HIV <input type="checkbox"/>C型肝炎 <input type="checkbox"/>B型肝炎</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p>
<p>現在、歯科以外の病院に通院していますか？</p> <p><input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p>
<p>現在、飲んでいるお薬はありますか？</p> <p><input type="checkbox"/>はい（お薬手帳をご持参下さい。） <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>・お薬手帳をお持ちでない方は、お薬の種類をお書き下さい。</p> <p>()</p>
<p>アレルギーはありますか？</p> <p><input type="checkbox"/>はい（薬： 食べ物： 金属： 花粉症： その他：)</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p>

〈歯科治療について〉

障害者歯科診療情報提供書	
【紹介元医療機関】 名称 所在地 電話番号 歯科医師名	【紹介先医療機関】 名称 所在地 電話番号 歯科医師名
患者氏名 <small>フリガナ</small> _____ 男 女 _____ 年 月 日生()歳	
紹介目的 <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> 検診 <input type="checkbox"/> 口腔清掃指導 <input type="checkbox"/> 歯周治療 <input type="checkbox"/> 齶蝕治療 <input type="checkbox"/> 義歯作製 <input type="checkbox"/> 抜歯 <input type="checkbox"/> 摂食嚥下 <input type="checkbox"/> 他(_____)	
紹介元医療機関からの依頼内容	紹介日(年 月 日)
	治療経過など
障害名	<input type="checkbox"/> 発達障害 <input type="checkbox"/> 知的能力障害 <input type="checkbox"/> Down症候群 <input type="checkbox"/> 自閉スペクトラム症 <input type="checkbox"/> 脳性麻痺 <input type="checkbox"/> 視覚・聴覚障害 <input type="checkbox"/> 脳血管障害 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 脊髄損傷 <input type="checkbox"/> パーキンソン病 <input type="checkbox"/> 染色体異常 <input type="checkbox"/> 筋ジストロフィー <input type="checkbox"/> うつ病 <input type="checkbox"/> 統合失調症 <input type="checkbox"/> その他(_____)
障害者手帳の有無 身体障害者手帳(肢体不自由) 愛の手帳 療育手帳 精神障害者福祉手帳	<input type="checkbox"/> 有 (下記から選択してください) <input type="checkbox"/> 無 □1級 □2級 □3級 □4級 □5級 □6級 □7級 □1度 □2度 □3度 □4度 □ A □ B □1級 □2級 □3級 (←重度 ※全手帳とも左側が重度で右側が軽度 →軽度)
特記事項	

既往歴	<input type="checkbox"/> 有 (下記から選択してください) <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 低血圧 <input type="checkbox"/> 心臓病 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 腎臓病 <input type="checkbox"/> 肝臓病	
	<input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> 骨疾患 <input type="checkbox"/> 結核 <input type="checkbox"/> 消化器疾患 <input type="checkbox"/> てんかん	
	<input type="checkbox"/> C型肝炎 <input type="checkbox"/> B型肝炎 <input type="checkbox"/> HIV <input type="checkbox"/> その他 ()	
服薬状況	<input type="checkbox"/> 有 (お薬手帳 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 無	
治療への協力度	<input type="checkbox"/> 問題なくできた <input type="checkbox"/> 練習で慣れた <input type="checkbox"/> 泣いた <input type="checkbox"/> 暴れた <input type="checkbox"/> 抑制下で行った <input type="checkbox"/> 治療不可	
コミュニケーションの方法について	<input type="checkbox"/> 言葉での会話が可能 <input type="checkbox"/> 簡単な言葉のみ <input type="checkbox"/> 筆談 <input type="checkbox"/> ジェスチャーでのやり取り <input type="checkbox"/> 絵やサイン <input type="checkbox"/> 視覚支援 <input type="checkbox"/> コミュニケーションは困難 <input type="checkbox"/> その他 ()	
歩行状態について	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 車椅子(移乗可 部分介助 全介助) <input type="checkbox"/> その他 ()	
付き添いの方の有無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 介助者 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無	
特別な配慮について		

○モデル実施を行ってみて、他地区の障害者歯科推進のために必要なこと、参考になること

本モデル事業では三次歯科医療機関、障害福祉サービス事業者、自治体、地域の歯科医師会が会議体をつくり、協議しながら進めてまいりました。それぞれの関係団体はそれぞれの立場で障害者医療・福祉に取り組んでいることが分かりましたが、同時にそれぞれの立場の考え方などの違いも出てきました。ですが、障害者を支えようとする考えはどの団体も変わりありません。アンケート結果にもあるように、利用者である障害者は家や施設の近くで通院できる歯科医療機関を求めています。たとえどの地域であっても、区市町村単位で障害者をとりまく関係団体がタッグを組み、自治体を中心となってバランスをとり、会議等を通じて連携やすり合わせを行うことで、課題を克服し、障害者を支えることは十分可能であると本モデル事業を通じて感じています。